

2022年鈴鹿サンデーロードレース第5戦 参戦報告書

**アドバンス生3名が序盤のレースでトップ3を走る好走!
ウェットコンディションを得意とする高平理智がサンデー初優勝!!**

7月9日(土) 公式予選 10:25~10:45 ◎天候・路面: Cloudy/Dry

#12豊田哲慎 予選3位 2'23.736 #21岡田陽大 予選9位 2'24.347
#44高平理智 予選10位 2'24.366 #7松岡絢音 予選11位 2'24.531

鈴鹿選手権サンデーロードレース第5戦は、前戦に引き続きフルコースでの開催だ。予選が行われた土曜日は早朝に少量の雨が降ったものの、路面は完全なドライだった。予選が開始されると、真っ先にコースインしていったのは#12豊田哲慎。#21岡田陽大は豊田の後方、集団の中でポジションを入れ替えながらタイムアップを狙う。岡田のさらに後方では#44高平理智、#7松岡絢音が単独で走行している。

豊田は序盤から好タイムを記録して早々とリーダーボードの上位に進出し、7周目には2分23秒736を記録して3番手グリッドを獲得した。集団を抜け出せない岡田はタイムが伸び悩み、ラストラップでベストとなる2分24秒347を記録し、この結果予選順位は9番手、3列目からのスタートとなった。高平は岡田にわずか0.019秒遅れの10番手、松岡は2分24秒531で11番手で続き、ともに4列目から上位進出を狙う。

7月10日(日) 決勝レース(フルコース8周) ◎天候・路面: Rain/Wet

#44高平理智 総合1位/ナショナル1位/NSFチャレンジ1位
#7松岡絢音 総合7位/ナショナル4位/NSFチャレンジ5位
#21 岡田陽大 転倒リタイヤ
#12 豊田哲慎 転倒リタイヤ

アドバンス生が参戦するJ-GP3クラスの決勝レースは朝8時半スタート。雨こそ降っていないが、コースは前夜の雨によるフルウェット。そのためウェットレース宣言が出され、レースは2周減算の8周で争われることとなった。予選3番手スタートの豊田はスタートでやや出遅れるものの、すぐさま順位を回復すると、1周目をトップで通過する。そして2番手には4列目から抜群のダッシュを決めた高平がつける。トップ2を走る豊田、高平を岡田も猛チャージ。2周目を終えた時点でHRS勢がトップ3を占めた。松岡は集団に飲まれてしまい、なかなかポジションを上げられないでいた。

豊田、高平、岡田はライバル勢とトップ集団を形成し、各コーナーでポジションをまぐるしく入れ替えながらラップを重ねていく。その中で豊田は予選での好調さを決勝でも遺憾なく発揮し集団をトップで引っ張るが、高平、岡田も食い下がり、豊田の独走を許さない。しかし6周目の1コーナー進入でシフトミス、フロントからスリップダウンしてしまった。その後方につけていた岡田も、豊田の転倒に対応しきれずに転倒してしまった。

このあと、3台に絞られたトップグループの中から高平が抜け出して後続との距離を引き離しにかかるが、ラストラップで高平と2番手の金子寛選手との距離は急激に縮まり、バックストレッチで金子が高平をパス。食い下がる高平はシケインの入り口で金子のインを突いてトップを奪還し、金子に0.076秒差をつけて優勝を飾った。松岡は最後まで集団の中から抜け切れず、7位でレースを終えている。

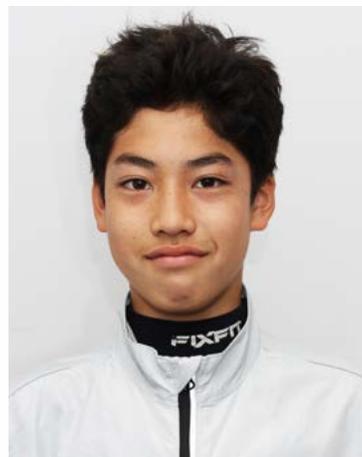


2022年鈴鹿サンデーロードレース第5戦 参戦報告書

**ナショナルJ-GP3クラス: 予選10位/決勝総合1位/ナショナル1位/NSF
チャレンジ1位**

高平理智(たかひら りいち) 13歳

『4列目からのスタートがうまく決まり、1コーナーまでにトップ集団に追いつくことができました。もともと雨のレースは得意なので、今回のレースでは自信を持って走ることができました。とはいえ路面は滑りやすく、あまり積極的になりすぎると危ないと判断して冷静に走ることを意識しました。7周目に後続を少し離すことが出来ましたが、慎重になりすぎたようでラストラップで追いつかれてしまいました。しかし、なんとか抑え切って優勝できたことは率直にうれしいです。1周目で3番手にまでポジションを上げられたので、気持ちが楽になったことも勝因だと思います。スタートが重要だということを、あらためて理解できました』



**ナショナルJ-GP3クラス: 予選11位/決勝総合7位/ナショナル4位/NSF
チャレンジ5位**

松岡絢音(まつおか じゅのん) 15歳

『予選1周目はクリアラップが取れたのですが、思ったようにタイムは上げられず、ペースの遅いライダーにも引かかって、タイムを伸ばしきれませんでした。早めにコースインすることを心がけて、戦略を組み立てて走らないといけません。決勝もスタートは良かったんですが、直後の1コーナーで他車に先行を許してしまい、そこからは集団の中でのレースとなってしまいました。予選も決勝も、早いタイミングでタイムを上げないとダメですし、今後の練習でもそのあたりを意識して取り組みたいと思います』



**ナショナルJ-GP3クラス: 予選9位/決勝リタイア
岡田陽大(おかだ ひなた) 14歳**

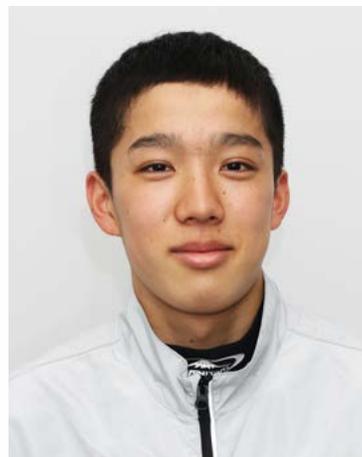
『予選では思うようにタイムを上げられず、3列目からのスタートとなりました。単独でタイムを出すつもりで走りましたが集団に飲まれてしまいました。集団に引っ張られて出たタイムだったので、単独で走ってタイムを伸ばさないといけません。決勝ではスタートでミスをしたが、運よく前のほうのポジションにまで上がれました。ですが走りには余裕がなく、ミスが多かったです。6周目には目の前の転倒に驚いて操作ミスをしてしまいました。どんな状況でも常に落ち着いて走れるようにならないといけないと思いました』



2022年鈴鹿サンデーロードレース第5戦 参戦報告書

ナショナルJ-GP3クラス: 予選3位/決勝リタイヤ
豊田哲慎(とよだてっしん) 15歳

『予選は単独で走り、1周目から2分24秒台が出せて、23秒台にも入れられました。3番手グリッドを獲得したことで、決勝レースに向けての自信が持てました。決勝ではスタートで出遅れましたが、1周目のヘアピンでトップに上がることができて、その後は高平選手と抜きつ抜かれつという展開でした。1コーナーでの転倒は決してオーバースピードではなかったんですが、アプローチで我慢しすぎて、シフトミスをしてしまった結果です。特別スポーツ走行からいい流れを作れましたが、転倒という結果に終わり、とても悔しいです。もっと冷静に走るべきでした』



上田昇 Instructor

『今回は高平が初優勝ということで、講師としてはうれしい結果となりました。またインターナショナルライダーと一緒に走る雨のレースで、HRSのライダーが序盤トップ3を走るなど、これからのさらなる伸びに期待ができるレースとなりました。高平は雨を得意としています。レースの序盤に上位にまでポジションを上げられたことも勝利の要因だったと思います。また豊田は雨が最大の苦手でしたが、前戦を終えてから九州で行った合宿で、大雨の中をずっと走ってもらっています。その練習の成果が今回のレースではっきりと表れました。転倒してしまった岡田はレース勤がいいライダーですがミスが多く、自分自身のライディングを把握する能力がまだまだです。もちろんほかの3名のライダーも、自身の走りを客観的にとらえる能力は十分とは言えないので、そのあたりも今後の課題ですね。松岡は7位でしたが、タイムはほかの3名とそんな色はありません。決勝では大きな差が出てしまっていますが、自分の問題点は十分理解していると思います。高平が優勝したことで、他の3名はきっと悔しい想いをしているでしょう。アドバンス生はこれからもライバル意識を糧に切磋琢磨を続けていって欲しいですね』

